

平成23年度 決算

議会からの要望事項

平成23年度決算を認定するに当たり、市長に対して10件の要望を行いました。

1 国営笠岡湾干拓事業費負担について

平成23年度末の収入未済額は、3億9,500万円近くに及んでいる。納入義務者の実情を適切に把握するなどにより、未済額の縮減に向け一層の努力をすること。

2 まちづくり協議会における各種団体の役割について

まちづくり協議会を構成する各種団体が果たしてきた役割と現状とを把握し、協議会構成団体として今後あるべき姿の明確化を図ること。

3 まちづくり協議会への地域担当職員の関わり方について

まちづくり協議会が進むべき方向について、協議会の求めに応じて一定の助言・指導ができるように地域担当職員を育成すること。

4 福祉分野における事業の有効性について

福祉の分野では、主に高齢者、障害者

を対象とした事業が多岐にわたり数多く実施されている。事業に重複・無駄や実施上の問題点はないか、また、目的に照らして事業の成果は上がっているか、疑われるものがある。

経費が有効に使われるよう、事情を精査し、委託先の管理・指導及び実態の把握に一層努めること。

また、県の補助による新規委託事業については、事業が完了後、事業継続のため市による補助金が極力発生しないよう努めること。

5 分別収集の委託について

委託先の決定にあたっては随意契約ではなく、競争原理を働かせることを念頭に、より公平で公正な委託業務の実施に努めること。

また、パッカー車等の車両保有については、適正な管理のもとで分別収集業務を推進すること。

6 決算説明書の記載内容及び資料について

記載にあたっては、実施による成果・効果を数値化するとともに、事実に基づく当年度の特徴を明記するなど、より分かりやすい記載をすること。特に福祉分野においては、利用者の延べ人数と実人数を併記するなど、実態を明らかにすること。

10 水道事業について

未処理欠損金が解消され、剩余金が発生している状況下で、市民の要請である水道料金に対する今後の方向性を示すこ

7 建設事業の全般について

単年度事業について工事発注の時期を早くして、次年度の繰越をすることなく事業を完了するよう努めること。

8 有害鳥獣捕獲奨励事業について

児童生徒が安全に通学できるよう、防護柵の点検及び新設の計画に努めること。

9 道路維持事業について

また、街路樹が大きくなつた場合に道路利用者への影響が出ないよう維持計画を図ること。

また、委託先の実態・取り組み及び成績に関して、参考となる資料を適宜準備すること。

こと。